

シオンクレヨンの使用方法

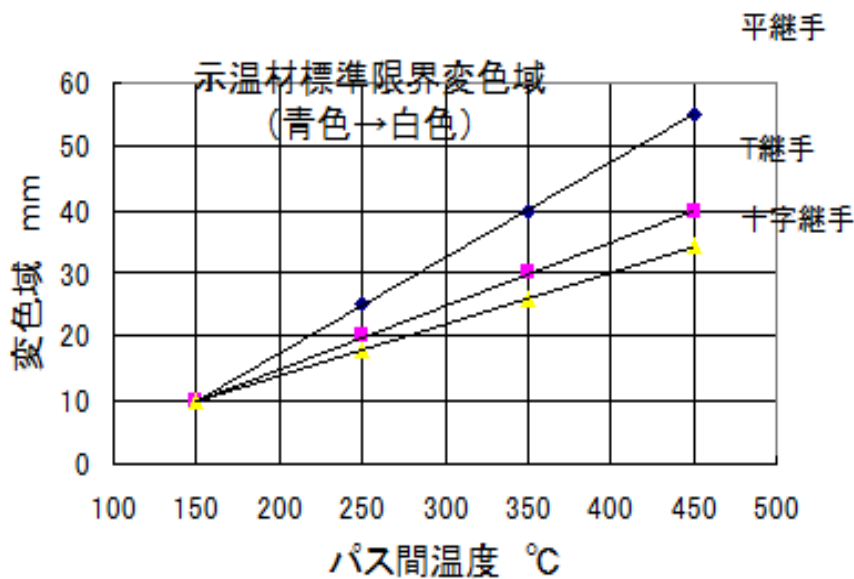
1：シオンクレヨンの目的

シオンクレヨンはパス管温度による熱履歴を事後に記録として残します。

2：シオンクレヨンの使用方法

- a：溶接施工前、クレヨンをパス管温度測定位置近傍に、溶接ビードと直行する方向で、ビードから外側に向かって 10 cm程度、塗布して下さい。
- b：溶接パスを重ね温度が上昇してくると、塗布されていたクレヨンが、ビード付近から外側に向かい、青色から白色に変色します。
- C：溶接終了後、クレヨンの変色長さによってパス管温度を推測し判定します。

3：シオンクレヨンの限界変色域



- (注1) 溶接長さ、板厚、継手形状等の条件により変色域は異なってきます。
- (注2) 板厚が16mm以下の場合には、溶接パス数が少ないため、
温度が上昇せず変色しない場合があります。
- (注3) 限界変色域はあくまでも参考データです。
現場で継手形状ごとに変色域を確認し、管理する変色域を設定して下さい。

4：シオンクレヨンの特徴

- A：シオンクレヨンで使用している示温塗料は、温度と加熱時間に反応し変色します。
そのため最高温度ではないパス管温度の履歴を事後に残すことが出来ます。
- b：サーモクレヨン等の一般的温度チョークでは温度の履歴を残すことは出来ません。
- c：シオンクレヨンでは今の温度は測定出来ません。

5：シオンクレヨンの注意事項

- a：保管温度：40℃以下
- b：可燃性 火気注意
- c：用途以外の目的には使用しないで下さい。
- d：使用時には保護手袋を着用して下さい。

東京都江戸川区西瑞江 5-10-7

株式会社 内外コーポレーション

TEL:03-5674-5321